

アーキテチャー入門【会場】 (4126171)

アーキテチャーはシステムの骨格の静的・動的なモデルです。構想・計画段階で一つ一つのシステムに対して作成し、アプリケーションと基盤を含む構築・運用の基礎とします。複雑度の増す現在のシステムにおいて、その重要性は増えこそすれ減ることはありません。個別システムのアーキテチャーの基礎と作成方法を学びます。

開催日時	2026年6月4日(木) 10:00-17:00会場
JUAS研修分類	ITアーキテクト・システム企画・IT基盤(ITアーキテクチャ)
カテゴリー	IS導入(構築)・IS保守 専門スキル
DXリテラシー	What(DXで活用されるデータ・技術): デジタル技術
講師	天羽正道 氏 (フリーランスITアーキテクト) 元日本アイ・ビー・エム株式会社エグゼクティブアーキテクト チーフアーキテクトとして様々な環境でのビジネス・アプリケーションの開発をリード。現在、アーキテクチャ策定支援などに従事。
参加費	JUAS会員企業/ITC: 35,200円 一般: 45,100円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (NBF東銀座スクエア2F)
対象	◆対象: ・プロジェクトの構想、計画においてシステムの全体像を明確にする仕事に携わる方 ◆前提条件: ・アプリケーションの設計・開発の経験3年程度 ・もしくはインフラの設計・導入の経験3年程度 初級
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

会場のみ(オンラインなし)

■テキスト

当日配布

■開催日までの課題事項

特になし

アーキテチャーはシステムの骨格の静的・動的なモデルです。構想・計画段階で一つ一つのシステムに対して作成し、アプリケーションと基盤を含む構築・運用の基礎とします。複雑度の増す現在のシステムにおいて、その重要性は増えこそすれ減ることはありません。本セミナーでは個別システムのアーキテチャーの基礎と作成方法を学びます。

◆特長◆

- ・アーキテチャーの基礎知識を得ることができます。
- ・ワークショップを通じて基本的なアーキテチャーを作成できるようになります。

◆概要◆

- ・アーキテチャーの定義と重要性
- ・アーキテチャー・モデルの作り方
- ・アーキテチャー・モデルを作るワークショップ

◆参加者の声◆

- ・開発の全体像を理解する、もしくは伝えるうえで有用な手法を学べた。

- ・アーキテクトのノウハウや必要な能力、モデルの作り方などを学ぶことができた。
- ・基本的なアーキテクチャー設計手法だけでなく最新の技術動向も学べて参考になった。

◆セミナー内容◆

1 アーキテクチャーとは

- ・アーキテクチャーとは
- ・アーキテクチャーの価値と重要性
- ・アーキテクチャーの文書

2 アーキテクチャー作成の概要

- ・全体の流れ
- ・インプット

3 基礎モデルの作り方

- ・概観図
- ・範囲図
- ・データ図

4 機能モデルの作り方

- ・機能モデルとは
- ・構造図
- ・振舞図

5 実現モデルの作り方

- ・実現モデルとは
- ・非機能要件
- ・実現方法
- ・アーキテクチャー決定
- ・アプリケーションの実現
- ・運用品質の実現
- ・配置図

6 アーキテクトのノウハウ

- ・パレートの法則
- ・関心分離
- ・仮説駆動
- ・リスク駆動
- ・典型アーキテクチャー
- ・凝集度・結合度